

5月5日(火)

立ち止まって、しるしを読みなさい

聖書朗読 ルカの福音書 1:67~79

これはわれらの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、日の出がいと高き所からわれらを訪れ、暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、われらの足を平和の道に導く。」
ルカ 1:78~79

あなたは急ぎ過ぎて大切なサインを見逃してしまったことはありませんか。私が救世軍の駐車場で見た【時速8マイル(約13キロ)汝スピード違反するなかれ】というような気の利いた看板もあります。思わず笑ってしまいましたが、それだけではなく、速度を落とし、注意するきっかけになりました。

神様もまたサインを送ってくださいます。ただそれは点滅する光や気の利いた標語によってではなく、私たちの世に差し込む約束によってです。ルカ1章で、ザカリヤの預言は新しい夜明けを示しました。暗闇にいる人には光を、希望を失った人には希望を、疲れた人には平安を。それは、イエス様であって現わされた神様の優しいあわれみのしるしでした。

しかし、ここに課題があります。私たちはあまりにも速く動き過ぎて、神様が示してくださっているものを見逃してしまうことがあります。すでに神様の憐れみはあり、神様の光は輝いていて、神様の平安は待っています。私たちに必要なのは、立ち止まり、気づき、神様に私たちの歩みを導いていただくことです。今日、ペースを落としましょう。神様の光を求めましょう。そして、その光にあなたを神様の平安へと導いてもらいましょう。

讚美歌第二編 112 きたりたまえ われらの主よ

祈り 天の父よ、あなたの優しいみこころに感謝いたします。目を開けてあなたの光を見られますように、あなたの平安へとお導きください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。



テキサス州 クリーバーン / クライドH・スリンプ

5月6日(水)

悪魔に立ち向かいなさい

聖書朗読 ルカの福音書 4:1~13

するとイエスは答えて言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない。』とされている。」誘惑の手を尽くしたあとで、悪魔はしばらくの間イエスから離れた。
ルカ 4:12~13

悪魔は、「あなたが誰か知っている。また戻ってくる。」と言うかのごとく去って行きました。ヤコブは『悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。』(ヤコブ 4:7)と語っています。しかし同時に私たちは悪魔が絶対に諦めないことも知っています。悪魔は戻ってきます。悪魔は私たちの弱さを知っているのです。

神様は悪魔がどのような方法で、媚びや魅惑、好奇心、誘惑等で近づいて来ても、悪魔に対抗する責任を私たちにお与えになりました。悪魔が直接やって来ることはめったにありません。むしろ多くの場合、善良な天使のように現れ、私たちが最も弱っているときに“助け”を差し出します。サタンはずる賢く、欺き、脅しによって勝とうとしますが、私たちが立ち向かうと逃げ去ります。

ローマ皇帝コンスタンティヌスはキリスト教に改宗した後、以前の知り合いの女性に近寄られたと言われています。彼が彼女を無視すると、彼女は「コンスタンティヌス、私よ、あなたの昔の友達よ。」と言いましたが、彼は「しかし、私はもうあなたの知っている男ではない。」と答えました。

『神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。』(ヤコブ 4:8)

讚美歌 389 みかみのことばは

祈り 全ての父なる神よ、悪に立ち向かう私たちに判断力と勇気と知恵をお与えください。イエス様の御名によって願い求めます。アーメン。

オーストリア共和国 ザルツブルク / ウィリアム E・マクドナー

5月7日(木)

より偉大な贈り物

聖書朗読 ルカの福音書 5:17~26

だから、彼らのまねをしてはいけません。あなたがたの父なる神は、あなたがたが願う先に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。

マタイ 6:8

私は、自分自身にこう言いました。「私は自分に何が必要かわかっているわ。」ある時、私はインターネット上の医療系サイトの情報を調べて、私の担当医の診断に疑問を抱いてしまいました。しかし、医師は診察時に我慢強く私の誤りを良く説明してくれて、彼の治療計画によって私は完全に回復しました。

今日の聖書箇所では、中風を患っている人と彼の友だちについて書かれています。中風を患っている人とその友だちは、イエス様が中風を癒すより先にまず彼の罪を赦された時、どう感じたのでしょうか。彼が願っていたことは、まず中風を癒されることだったのではないのでしょうか。イエス様は罪を赦したあとで、中風を癒やし、歩けるようにされ、屋根からつり降ろした寝床をたたんで帰らせました。では、より大きな贈物はどちらでしょうか。どちらの祝福の方がより深い意味を持っていますか。

人生においては困難があり、私たちは度々神様の介入を祈ります。しかし、私たちは本当に神様に全てを信頼して、診断と治療の両方を委ねているのでしょうか。神様は私たち自身よりずっと私たちに必要なものを理解しておられます。神様のなさる方法とその後に続く祝福は私たちの想像をはるかに超えているのです。(イザヤ 55:8~9) 神に全てを委ねましょう。

聖歌 292 きょうまでまもられ

祈り 愛する神様。あなたの限りない祝福の前に私たちは畏れをもって立ちます。癒やし主、イエス様を通して、私たちに必要な全てを満たして下さることを感謝いたします。主の御名によってお祈りします。アーメン。



テネシー州 ブレントウッド / アールD・ラベンダー

5月8日(金)

みなの人々がほめるとき

聖書朗読 ルカの福音書 6:17~26

——この世は彼らにふさわしいところではありませんでした——荒野と山とほら穴と地の穴とをさまよいました。
ヘブル 11:38

ほとんどの人は褒められるのが好きです。むしろ褒められることを求めているかもしれません。「よくやった」「素晴らしい」と言われて嬉しくない人がいるでしょうか。しかし、ルカ6章でイエス様は他人からの承認を目標にしてはならないと厳粛な警告を与えておられます。自己肯定さえも心の中心に置いてはいけません。神様は、ただ神様に喜んでいただく為に生きるという、もっと素晴らしいものへと導いてくださいます。

そのような生き方は簡単ではありません。実際、それはイエス様に従う上で最も難しいところかもしれません。イエス様ご自身はそれを完全に示されました。ゲツセマネの園でイエス様は、汗が血のしずくのように落ちるほど真剣に神様のみこころと向き合いました。しかし、そのお苦しみにもかかわらず、イエス様は神様に従うことを選ばれました。イエス様はご自分の痛みと苦しみを脇に置き、父なる神様を喜ばせることを選ばれたのです。

これこそ神様がたたえる、ひたむきな献身なのです。神様に従うこととは、世が目を背ける時にキリストから目を離さず、称賛されない時に従順を選ぶことなのです。

聖歌 541 みなささげまつり

祈り 主よ、何よりも先ずあなたの称賛を求めることができるよう助けてください。人々の称賛の為ではなく、あなたのみこころにかなう生き方を教えてください。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。



テキサス州 ラボック / ロドニー・トーマス

5月9日(土)

家庭菜園

聖書朗読 ルカの福音書 13:18~21

別の種は良い地に落ちて、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結んだ。
マタイ 13:8

私は裏庭で家庭菜園をしています。父は素晴らしい園芸家で、テキサス東部の柔らかい土と頻りに降る雨の中で、毎年、大きな家庭菜園を作り、よく手入れをしていました。私はそう簡単にはいきません。ここ数年、小さなレタスやホウレン草の種を何度か蒔きましたが、あまり上手くいきませんでした。多分植えた後の手入れが十分ではなかったのです。

今日の聖書の箇所を見ると、からし種を植えると手入れをしなくてもみるみるうちに成長するように思えます。ですから、からし種を植えることを試してみるべきでしょうか。いいえ、違います。どの種でも畑をよく手入れすることのできる園芸家が必要なのです。

私はそれがレタス、ホウレン草やカラシ、トマト、何であれ、あらゆることに心を配り、私の少しの働きを大きな収穫へと変えてくださる神様に感謝しています。一方、私の日常生活においても同様です。私の日々の生活ですることは、祈り、優しい言葉や励ましを周りの人に掛けること、わずかな献金、賛美を捧げること、または笑顔で周りの方に接することのように小さなことかもしれません。しかし、神様は私たちのわずかな捧げものを育てて下さり、はるかに大きなものへと成長させてくださいます。

ですから、自分が成功していると思う時も、そう思えない時も、精一杯種を蒔き続けましょう。神様が必ずそれを用い、成長させてくださるのです。

聖歌 347 いかにおそるべき

祈り 主よ、私の小さな働きを受け取り、価値ある実りに変えてくださることを感謝します。あなたの優しい御手のもとで、もっと多くの小さな種を見つけて蒔くことができますように。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。



テキサス州 ラボック / ジェス・ピーターソン

5月10日(日)

選 択

聖書朗読 ルカの福音書 14:7~11

あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。

ヨシュア 24:15

私たちは皆、どのシャツを着るかという些細なことから、人生の中で出会う人々にどう接するかという重要なことまで、一つ一つ無意識か意識してか必ず選択をして生きています。そして、その選択は、良くも悪くも私たちの人生を形作ります。

今日の聖書の箇所では、イエス様は、ある食事の席で、招待された客が地位や特権、自己利益への欲求に駆られて一つ一つを選択していることに気が付きました。イエス様はそのような選択が彼らの人生を歪め腐敗させることを知っておられました。そして、よりよい選択をするよう勧められました。それは神様に全き信頼を置くこと、また他の人に対する思いやりの心を持つという選択です。

つまり、私たちの日常生活の夕食の時間の会話の中の受け答え一つ一つが大切なのです。私たちの日常生活において行うことが永遠に関わる選択に結びついているのです。大切なのは、絶えずイエス様のお導きを心に置き、自分の欲ではなく、永遠に価値のある選択を選ぶことです。ヨシュアがイスラエルの民に呼びかけたように、主に仕えることを選びましょう。たとえ小さな選択に思えることだとしても、あなたがどのように話し、どのように行動するかが、あなたの将来を形作るのです。

讚美歌第二編 187

祈り お父様。今日の私の選択が賢く良いものでありますように。自分の特権の為ではなく、他の人に仕え、励ますことに心を向けることができますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

アイダホ州 ボイシ / マイク・サンダース